

渋谷フクラス 渋谷駅中心地区デザイン会議 協議内容について

01.建物概要

所在地 東京都渋谷区道玄坂一丁目2番3号
事業主体 道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合
主要用途 事務所、店舗、駐車場 等
延床面積 約58,980㎡
建物高さ 約110m
階数 地上18階 地下4階



外観

02.デザインコンセプト

「小さな物語の集積」として現れる外装

渋谷を訪れる全ての人々の「小さな物語」を
紡いでいくような外装計画
その集積として現れる外装のかたち



物語の原石が集まった結晶体のような建築

多様な文化が混在し、成長していく渋谷
そこで生まれる新たな物語の原石
結晶体として立ち現れる外装は時間と共に輝きを増してゆく



03.最終イメージ



屋上広場



外観(夜景)



歩道部 (地域荷捌きエレベーター・機械式駐輪場)



アーバン・コア

渋谷フクラス 渋谷駅中心地区デザイン会議 協議内容について

04.デザイン会議協議内容(※抜粋)

－指針－渋谷らしい、エリアや沿道ごとに個性ある街並み、多様な境界、活気とにぎわい景観の形成

ファサード

指摘：1. 建物四周が周辺から見えるため、顔となる面にポイントを置いてデザインすること。
2. ハチ公広場・原宿方面などの主要な視点場からの見え方に配慮すること。

対応策：1. 表情豊かなファサードとし、北東部を顔としたにぎわいを表出させた。
2. 屋上階の用途・広場・形状・緑の配置調整により、にぎわい・視認性を強化した。

アーバン・コア

指摘：1. 視覚的に縦動線であることが万人に判りやすいデザインとすること。
2. アーバン・コア下部の柱を抜く検討をすること。

対応策：1. 透明性の高いガラスの箱を配置し、西口駅前広場からの視認性に配慮した。
2. アーバン・コア下部の柱を取り除き開放性のある空間を確保することで、まちの起点となるゲート広場に相応しい空間とした。

